

伊予三島ロータリークラブ



伊予三島RC30周年記念時計塔
伊予三島運動公園「産土の塔」

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world



2015~2016年度国際ロータリー会長

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長/中野 哲 ■幹事/山内一正 ■広報委員長/園部忠幸

No. 4 3
平成 28.4.22
第 2 9 8 3 回

No. 4 4
平成 28.4.22
第 2 9 8 4 回
休 会

地区研修・協議会報告

次期会長 井原 伸



会場を埋め尽くすロータリアン

去る4月17日(日)曜日、11名の会員と3台の車に分乗し、サンポートホール高松にて開催された2016-2017地区研修・協議会に参加して参りました。

午前中の全体会議終了後、私は幹事の今村会員・会計の香川会員と共に部門別協議会に出席致しました。

その際、当日、来賓としてお越しになられていた安平和彦さん(姫路ロータリークラブ所属)から、非常に興味深いお話をお聞きしましたので、報告致します。

安平さんは第2680地区のバスターガバナーであり、国際ロータリーや一般社団法人ロータリーの友にも深くかかわられている方です。

正確な会議名や日時は、メモでなかったのですが、最近のRI理事会において驚くべきことが2点、採択されたというのです。

1点は、例会は月2回以上でいい、つまり2回でも認めるということ、もう1点は入会金はもらわなくてもいいということです。理事会でもたいへん紛糾し、白熱した票差で可決されたということですが、今後このことが各クラブに及ぼす影響は小さくないのではないかと、思いました。果たして、どのタイミングでどのクラブがどう変わるのか、私には想像もつきませんが、各クラブ会長からも多数質問が出され、注目の度合いが目立っていました。この件につきましては、追ってご報告申し上げたいと思います。

なお当日は、大先輩である森川憲二会員の急逝の報を受け、毎年恒例であります地区協議会終了後の親睦会を私の判断にて中止させて頂きました。これに代わる次年度委員長さんとの交流の場を検討させていただきたいと思います。

会長・幹事・会計部門会

次期幹事 今村 定生

会長・幹事・会計部門会に参加し、地区研修リーダーの豊田章二様より戦略計画の説明がありました。まずは戦略目標を経て計画立案を作成し取り組んでもらいたい。①クラブのサポートの強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知の向上 その目標事項を元にクラブ内でビジョンを思い描き、これに向けた目標を立てるプロセス。1. クラブの現状はどうか クラブの長所と短所 2. クラブは何を目指しているのか 達成期日も明確にし 3. どのように目標を達成できるか 4. 目標に向けての進捗はどうか と戦略計画立案ガイドの説明があり、クラブ内での活性化、価値観を行動に移してほしいと言うのが、主たる説明でした。

会長・幹事・会計部門会

次期会計 香川 俊二

4月17日(日)にサンポートホール高松にて開催されました「2016-2017年度地区研修・協議会」に参加させていただきました。

私にとりまして始めて参加させていただく地区研修・協議会でしたが、第2670地区の会長、幹事他各担当者が一堂に会しサンポートホールの大ホールを埋め尽くす光景に、圧倒されつつ会議が始まりました。

午前中の全体会議のあと、各部門別の協議会が開催されました。私の属する会計の他、会長、幹事との合同の協議会ということで、皆さんベテランの会員の方ばかりで活発な議論がされておりましたが、まだまだ若輩の私にとって言葉や仕組み自体の意味が理解ができないことも多々あり、不勉強を痛感いたしました。

さて、第2670地区の次期一般会計予算(案)についてですが、収入については参加者の負担金収入の減少等により約100万円の減少。支出については、国際協議会費や委員会活動費の増加が約100万円程度あるものの、人件費他事務所運営費を約200万円削減し前期並を維持するとのこと、ご了解いただきたいとの話でありました。



全体会後の各部門別協議会のようす

ロータリー財団委員会

佐藤 慎 輔

4月17日の地区研修・協議会に参加してきました。

部門別会議では、ロータリー財団委員会で1時間半傾聴しました。解らないことばかりでしたが、ポリオプラス計画は比較的理解できました。現在までに、20億人の子供が予防接種を受け、ポリオ絶滅活動を行っています。野生型ポリオウイルス常在国は、アフガニスタンとパキスタンの残り2カ国だそうです。インドでのポリオワクチン経口投与の活動報告が徳島プリンスRCの方からなされました。このような活動がモデルとなって、継続されることは、今後如何なる病気、ウイルスが発生した時でも活かされるものであるという感想を受けました。

クラブ奉仕委員会

次期委員長 桂 高 司

4月17日高松サンポートで開催された地区協議会クラブ奉仕委員会研修に参加致しました。

先ず、カウンセラー・SAA・地区委員の自己紹介後、主旨説明の後、協議事項として

① 各クラブのCLPの現状と進め方

○ガバナーエレクト柳澤光秋氏の卓話

○CLPについて改善や進め方についての協議

・各クラブの自主性により運営をしても良い。

② 会員増強・退会防止について

○会員増強（3名以上）に功績があったクラブによる発表があり

・企業二世の会員候補者に卓話をしていただく。

・女性会員の勧誘をする。女性同士の連鎖的入会に繋がる。

・30歳からの青年会員の会費の減免する。（半額程度）

○退会防止として実施しているクラブより

・新入会員のサポートを行う。入会後は一人にしないで話しかける等。

③ 会員親睦について（面白くするにはどう工夫があるか）

・近隣クラブとの合同例会の開催（花見例会や月見例会など年間2回程度実施する。）

・ゴルフ部会による合同コンペの開催。

④ 取組みについて

・クラブ奉仕委員長→次期会長＝閑職である。のではなく パスト会長の意見・指示を仰ぎ、各委員長に関わり各委員会の要として存在感を持つことが望ましい。（各クラブの考え次第）

以上、クラブ奉仕委員長は会員が楽しく例会行事に参加できるように、またその事で会員増強にも繋がるように会の運営を行うのが務めであるとの研修を受けてまいりました。

職業奉仕委員会

次期委員長 竹 本 哲 也

例年の様に、午前中はセレモニー、午後からは分科会という流れだった。

今年も、午前中はほとんど記憶にない。残念ながら、、、

分科会場に移動して昼食である弁当を開けて、「これは一体いくら？原価は？」等、分析しながら食べました。午後から職業奉仕委員会の分科会は山本地区担当幹事の進行の元、亀井パストガバナーのカウンセラーで行われました。ほとんどが詫間地区委員長の説明であったような気がします。重要な内容は以下の通りです。

職業奉仕委員会

職業奉仕は会員個人の責務のみか？

R1理事会声明（1987年）：職業奉仕はクラブと会員双方の責務である。

クラブの職業奉仕委員会の役割：クラブの職業奉仕委員会は、会員に職業奉仕をしてもらうための指導激励機関なのです。会員の修練（対内的）

R1事例研究、職業奉仕採点表の活用（R1定款）

本クラブの会員が、その職業における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。

・四つのテストの普及・活用の推進

・例会での職業関係の会員スピーチ（卓話）事業上の成功法、苦勞、業界の専門家成功者の講話、優良事業場の見学、従業員表彰、公共に奉仕されている方の表彰

・職業相談、職業指導

・雇用主と従業員との関係改善

米山奨学委員会

米山委員長 外 山 英 敏

今年、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より伊予三島ロータリークラブに対して世話クラブとしての委任状を頂きました。私にもカウンセラーとして委嘱状を頂きました。同クラブで何回もカウンセラーになるのは避けて下さいとの事でしたので、辞退したかったのですが、現在他に引き受けてくれる適任者がいないと云うことで、やむを得ず今回で三度目になりますがカウンセラーをお引き受けすることになりました。皆様の寛容の心と友情でもって、ご支援ご指導を下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

受入れの学生は、愛媛大学理工学研究科の物質生命工学専攻の修士課程一年生。ベトナムからの留学生。DAM THIHUYEN TRANGさんです。ダムは姓・Family Nameです。Middle Nameはティーフェン、名前はチャンさんといいます。本人は自分の呼名を「チャン」と云って下さいと言っています。1989年12月19日生まれで現在26才です。なかなかチャーミングで朗らかな美人の女性です。4月23日には丸亀市において米山奨学生のオリエンテーションとカウンセラーの研修会がありました。伊予三島ロータリークラブが世話クラブとしてチャンさんをお世話するのは、2016.4.1～2018.3.31の2年間となります。会員諸兄のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。4月22日の例会で初めての自己紹介をいたしました。5月14日15日の地区大会にも参加して、表彰のプレゼンターとして大会運営のお手伝いをしました。

米山奨学会の今年の活動方針は特別寄付金をお願いすることと、昨年から引き続き米山梅吉氏の事績・ご功績を調べて皆様にご紹介して、日本のロータリークラブの歴史とロータリー精神を学んでゆきたいと存じます。米山氏に相関した人物伝も併せて勉強したいと思います。2013年4月1日から2014年3月31日まで当クラブが世話クラブとなってお迎えした韓国からの留学生・朴 相我パクアさんは、見事に愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程の博士号を取得されてご卒業されました。その後日本の女性と結婚して当クラブへホームカミングされました。また母国の韓国へ帰り、ロータリークラブへ入会されました。我々の仲間としてパクアとなり、2016年5月28日から6月1日までのソウル国際大会にも米山学友会として参加されました。伊予三島ロータリークラブも世話クラブとしてこのような成果を上げられたことを誇らしく嬉しく思います。米山奨学会はこのように世界と日本の架け橋となる国際親善の為の運動であり、民族の交流と平和に役立つ日本が誇る国際貢献の活動であります。今後も引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会奉仕委員会

次期委員長 山 内 一 正

2016年4月17日（日）サンポートホール高松で開催されました2016-2017年度地区研修協議会に出席して参りましたが、先日の台風並みの強風被害対策の為、急きょ帰路に着かざるを得ず、部門別協議会には出席できませんでした。部門別協議会SAA岡田俊一氏に退席の旨を伝え資料を頂きました。各ロータリークラブの社会奉仕活動の報告があり、各県それぞれ2クラブ高知RC、高知南RC、

宇和島RC、八幡浜RC、小松島南RC、徳島RC、高松RC、観音寺RCの発表があり、その後質疑応答があった模様です。

残念ながら協議会には出席できませんでしたが、各ロータリークラブでは所在地域あるいは行政区域内で様々な活動がなされているのだと思います。配布資料の中に2013年手続き要覧社会奉仕(COMMUNITY SERVICE)についての記述がありましたので紹介致します。

『2013年手続き要覧』

1. 社会奉仕 (COMMUNITY SERVICE)

社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に住む人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

1. 社会奉仕に関する声明 (Statement on Community Service)

1992年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択した。

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。

この奉仕の理念の適用を実行することについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。ロータリアン個人として、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

この精神に立脚して、各クラブに対し次のように推奨する。

- 1) 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域のニーズを検討させること。
- 2) 社会奉仕プロジェクトを実施するに当たっては、会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かすこと。
- 3) どのようにささやかであっても、あらゆる社会奉仕活動が重要であると認識した上で地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や力量を考慮してプロジェクトを始めること。
- 4) 各種社会奉仕活動を秩序立てるために、ロータリークラブが提唱するインターアクトクラブ、ロータリーアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、そのほかのグループと緊密に協力すること。
- 5) 国際レベルのロータリープログラムと活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を確認すること。
- 6) 社会奉仕プロジェクトの実行に当たっては、望ましく、また、実現可能な限り、必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会にも参加を求めること。
- 7) 社会奉仕の目標を達成するために、RIの方針に沿ってほかの団体と協力すること。
- 8) 社会奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにすること。
- 9) 社会奉仕活動においてほかの団体の協同参加を促進する触媒としての役割を果たすこと。
- 10) もしそれが適当であるならば、公共組織、奉仕団体、そのほかの諸団体に継続中のプロジェクトを委譲すること。そうすれば、ロータリークラブは新プロジェクトに携わることが可能となる。RIは、ロータリークラブの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリークラブの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの目的を推進し、参加を望むロータリアンやロータリークラブ、地区の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜、提案する責務を負っている。

理事会は、「社会奉仕に関する1923年の声明」の歴史的価値に鑑み、これを今後発行される「手続要覧」に掲載するよう、事務総長に要請した。』

先日、九州地方特に熊本で地震による大きな災害が発生いたしました。社会奉仕活動の一環として現地ロータリークラブ等と協力しながら実現可能な限り資金、人材の提供も含め協力出来ればと考えております。

米山奨学生ダム ティフェン チャンさん歓迎会

米山奨学会委員長 外山英敏

4月22日(金)、午後6時からホテル・グランフォーレ宇和島にてベトナムからの留学生。DAM THIH UYEN TRANGダム ティフェン チャンさんの歓迎会を開催。出席者はチャンさんも入れて9名でした。

今村さんや篠原さんはベトナムにも出張が多く、タブレットの写真を見ながら色々と解説されて面白いベトナムの勉強会になりました。加地信彦会員の奥様・令子様にも特別参加して頂き、豊富な国際交流の経験から色々とお話をして頂き、楽しい歓迎会となりました。

受入れ学生のチャンさんは、愛媛大学理工学研究科の物質生命工学専攻の修士課程一年生です。当クラブでは2016年4月1日から2018年3月31日迄の担当となります。皆様のご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



第2983回 例会 記 録 平成28年4月22日

開会 中野 哲 会長

来賓紹介

米山奨学生 ダム・ティー・フェン・チャン様

来訪ロータリアン紹介

(松山) 三原英人氏

出席報告

| | |
|-------------|--------|
| 出席会員 (36名中) | 25名 |
| 出席率 | 69.44% |
| 第2981回修正出席率 | 91.89% |

会長の時間

○定例理事会報告

・5月度プログラムについて 承認

5/6 休会

5/13(夜)クラブ協議会(炉辺会合)

5/20 地区大会報告

5/27 卓話(内部:藤田浩晃会員)、定例理事会

・6月度プログラムについて 承認

6/3 社会奉仕委員会

6/10 プログラム・出席委員会(次期プログラム発表)

6/17→12(日)親睦委員会「下期親睦家族会」

6/24(夜)会長・幹事退任挨拶、定例理事会

幹事報告

例会行事

地区研修・協議会報告

ニコニコ紹介

松山RC三原英人様～

メーカーキャップでお世話になります。

4月29日プログラム予定

休会(昭和の日)

5月6日プログラム予定

休会

5月13日プログラム予定

クラブ協議会(炉辺会合)

クラブアセンブリー

(時間:午後6時～)

(場所:グランフォーレ)